

LCIF 2023-2024

北野淳子

333-C 地区ガバナー



Lions Clubs International
FOUNDATION

LCIF NEWSLETTER
VOL.1

国際社会の一員としての LCIF 活動を

創設107年目を迎える世界最大の奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」。歴史と伝統に培われた豊饒なライオンズ精神は多くの実を結び、国や地域に添った様々な形で「奉仕活動」という成果を世界に発揮してきました。交付金を通じてライオンズクラブ会員を支えているのが、LCIF（ライオンズクラブ国際財団）です。

LCIFには、①シェアリング交付金として地区及びクラブへ支給されるもののほか、②視力ファースト交付金、③人道支援マッチング交付金、④ライオンズクエスト交付金、⑤各種災害援助交付金、⑥食料支援交付金、⑦小児がん交付金など様々な交付金があり、多くの人々の手助けとなっています。

333-C地区今期のLCIF目標額は、25万ドルです。その達成のために、まずガバナー公式訪問合同例会においてLCIF年次報告書ダイジェスト版を各クラブへ配布し、皆様の善意の寄付がどのように活用されているのかを伝え、一人100ドルの寄付を各クラブにお願いしました。その場でMJF（メルビン・ジョーンズ・フェロー1,000ドル寄付）寄付者へのアワード表彰を行い、懇親会では新規MJF寄付誓約を募ったところ、多くのメンバーが飛び入りで申し出て下さったことはとてもありがたく、良いスタートとなりました。

11月11日に開催した「333-C地区フォーラム 奉仕で笑顔」では、LCIFを支援する人のすそ野を広げたいという気持ちでLCIFブースを設置し、理念の浸透と100ドル寄付の協力を求めました。ブースを盛り上げるためにLCIFより提供されたグッズが喜ばれ、メンバーから人気のコーナーとなり、ドネーションボックスにも多くの寄付が集まりました。同時に配布した資料によって、LCIFの意義についても皆様に伝えることが出来たと感じています。

今後は、地区年次大会でのLCIF表彰を予定しています。初めてのMJF1,000ドル寄付達成に近づいているメンバーの方々にお声かけをさせていただこうと思いますので、LCIFへのより一層のご協力をお願いします。

近年、国内外で大雨による洪水や干ばつ等の自然災害が頻発しています。また世界では、終わりの見えないテロや紛争により、驚異的な数の人々が苦しみに遭遇しています。

そのようななか、LCIFから国際規模の大きな支援が行われており、日本に対しても特に災害時は多額の交付金でのサポートがあります。

LCIFの重要性は増しています。引き続き、皆様の更なるご協力を力強くお願いいたします。



2023年11月11日開催「333-C地区フォーラム 奉仕で笑顔」での会場の様子。
LCIFブース（下）。



複合地区 LCIF コーディネーターより一言

MD333 中嶋 正昭

333 複合地区スローガン『LOVE 100 (ワンハンドレッド)』準地区内を精査され具現化し、行動されることを期待致します。
一緒に頑張りましょう！！